

2026年3月期 第2四半期
(2025年4月～2025年9月)
決算説明資料

bpd スーパーバック”株式会社

2025年12月2日

1. 決算サマリー

2. 2026年3月期 第2四半期決算の概要

3. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期2Q決算サマリー

経営環境

- 訪日外客は継続的な増加でインバウンド効果継続
- 主力販売先の小売業店舗数は増加、国内の包装資材需要は堅調

連結業績

売上高 134.3億円（前年同期比+3.0億円）
営業利益 2.9億円（前年同期比△0.3億円）

- 宅配・紙器の需要取り込みで売上高は増収
- 原材料費・物流費の高騰に加えて生産機械の整備・保守時間の増加により紙製品利益率が低下

財務状況

フリーC・F 4.1億円（前年同期比+3.4億円）

- 政策保有株式縮減で流動比率上昇
- 借入金削減と自己資本増加で自己資本比率上昇

1. 決算サマリー

2. 2026年3月期 第2四半期決算の概要

3. 2026年3月期 業績予想

連結業績ハイライト

在庫適正化による利益率低下に加えて投資コスト増加で減益

単位：百万円

	2025年3月期 2Q実績	2026年3月期 2Q実績	増減	ポイント
売上高	13,122	13,431	売上高 + 2.4 % 309	宅配・紙器包材需要の取り込みで 紙製品事業好調
売上総利益	売上総利益率 19.7 % 2,579	売上総利益率 19.5 % 2,622	売上総利益率 △ 0.1 %pt 42	増益達成も、原材料の高止まり、 在庫適正化実施により利益率低下
販売管理費	販売管理費率 17.1 % 2,246	販売管理費率 17.3 % 2,325	販売管理費率 + 0.2 %pt 79	
営業利益	営業利益率 2.5 % 333	営業利益率 2.2 % 296	営業利益率 △ 0.3 %pt △ 36	人件費・外注コストの増加により 営業利益は減益
経常利益	経常利益率 3.0 % 390	経常利益率 2.5 % 339	経常利益率 △ 0.4 %pt △ 50	
特別利益	0	54	53	投資有価証券売却益 54
特別損失	1	25	24	子会社清算損 19 (中国法人清算に伴うコストの計上)
親会社株主に帰属する 中間純利益	当期利益率 2.1 % 271	当期利益率 1.9 % 260	当期利益率 △ 0.1 %pt △ 11	政策保有株式の縮減推進に伴う 売却益を計上も中間利益は減益

連結セグメント業績

紙製品事業の利益率低下を化成品事業・その他事業で補い切れず減益

単位：百万円

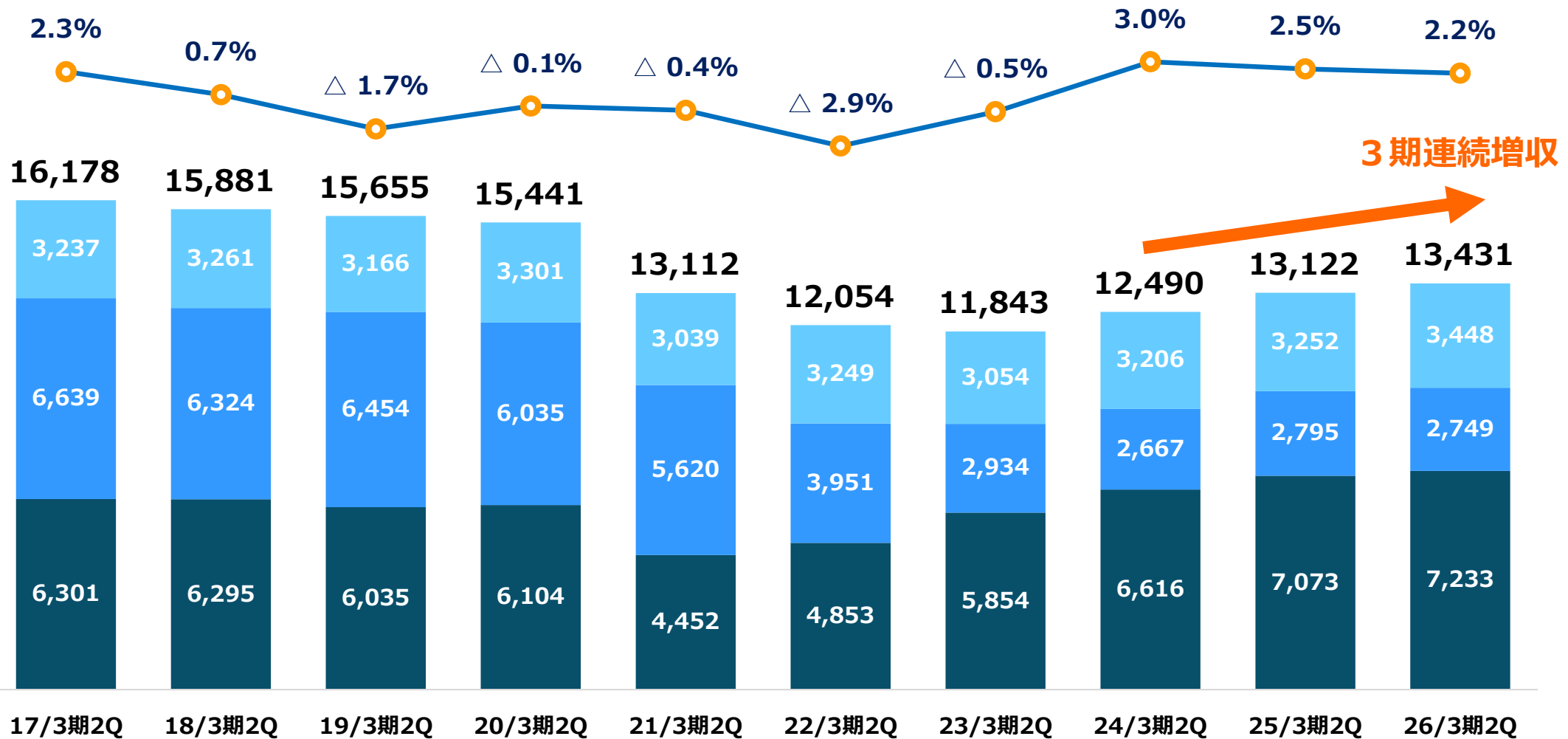
	2025年3月期		2026年3月期	
	2Q実績		2Q実績	増減
売上高		13,122	13,431	+ 2.4 % 309
紙製品事業	構成比率 53.9 %	7,073	構成比率 53.8 % 7,233	△ 0.1 %pt 159
化成品事業	構成比率 21.3 %	2,795	構成比率 20.5 % 2,749	△ 0.8 %pt △46
その他事業	構成比率 24.8 %	3,252	構成比率 25.7 % 3,448	+ 0.9 %pt 195
営業利益	営業利益率 2.5 %	333	営業利益率 2.2 % 296	△ 0.3 %pt △36
紙製品事業	セグメント利益率 7.5 %	532	セグメント利益率 6.7 % 486	△ 0.8 %pt △45
化成品事業	セグメント利益率 1.6 %	44	セグメント利益率 2.6 % 71	+ 1.0 %pt 27
その他事業	セグメント利益率 2.7 %	87	セグメント利益率 2.9 % 99	+ 0.2 %pt 11
調整額		△331	△361	△30

連結業績推移

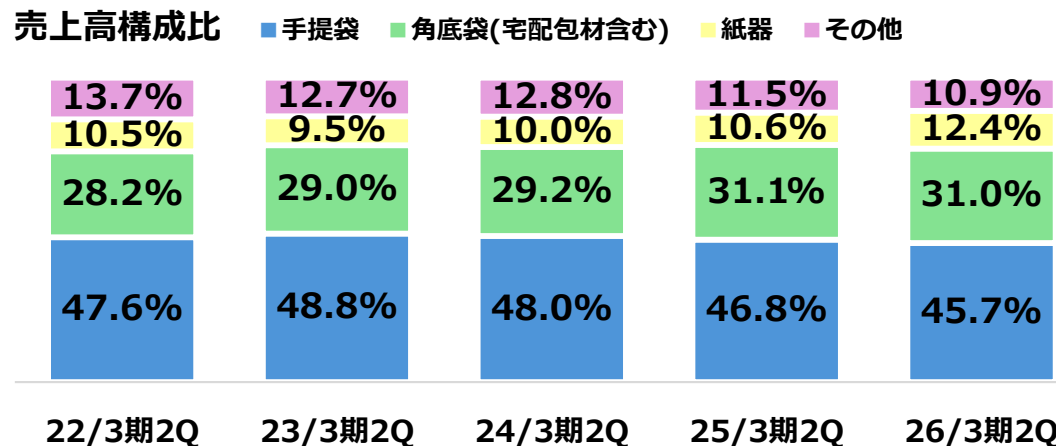
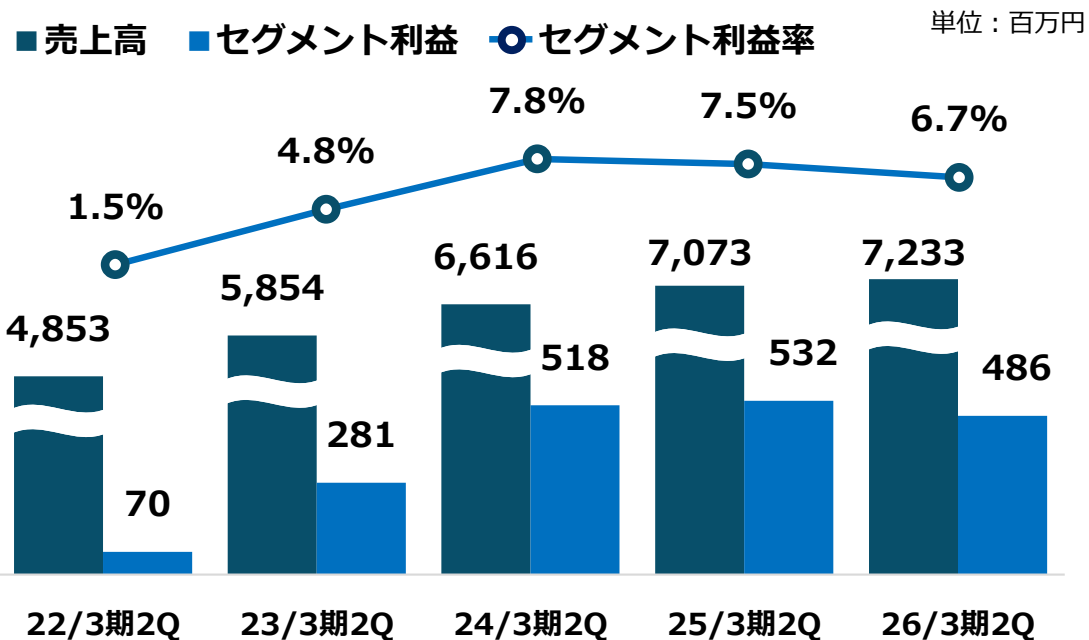
連結売上高は3期連続で増収

単位：百万円

■：紙製品売上高 ■：化成品売上高 ■：その他売上高 ○：営業利益率



紙製品事業

売上高は4期連続で増収達成、設備投資により利益向上を目指す

概況

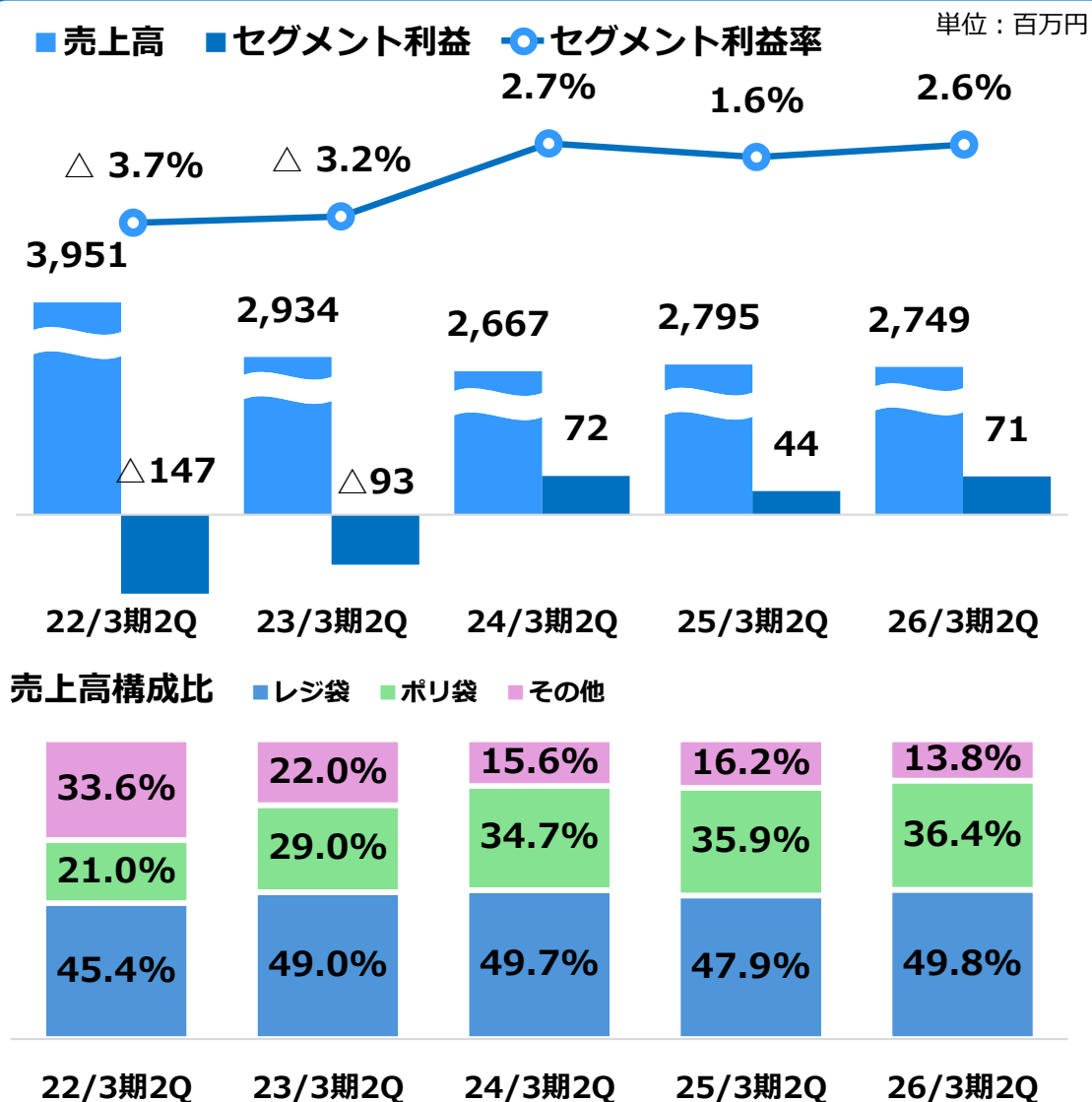
- ・紙器、テイクアウト包材が好調に推移
- ・ECサイト向けの宅配包材の販売堅調
- ・原材料価格の高止まり、在庫適正化の実施、生産機械メンテナンスによる稼働時間圧迫の影響でセグメント利益は減益
- ・下期以降は技術伝承、指導員の配置といった育成推進と生産機械への積極的な設備投資により生産効率化を図る

当社製品例



化成品事業

包装資材有料化も売上への影響は軽微、海外品の調達コスト低減により利益拡大



概況

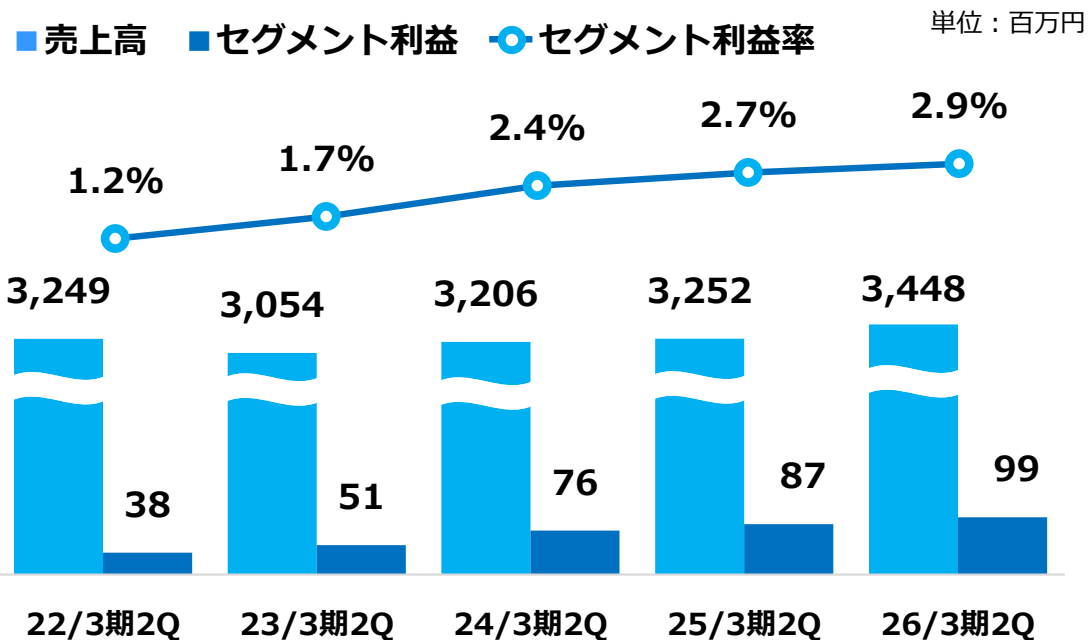
- ・ 飲食店向けの販売が好調
- ・ コンビニやスーパー向けのバイオ素材レジ袋の取扱数増加
- ・ 包装資材の有料化等の影響からセグメント売上高は減収
- ・ 海外品調達先の多様化による調達コストの抑制・低減でセグメント利益は増益

当社製品例

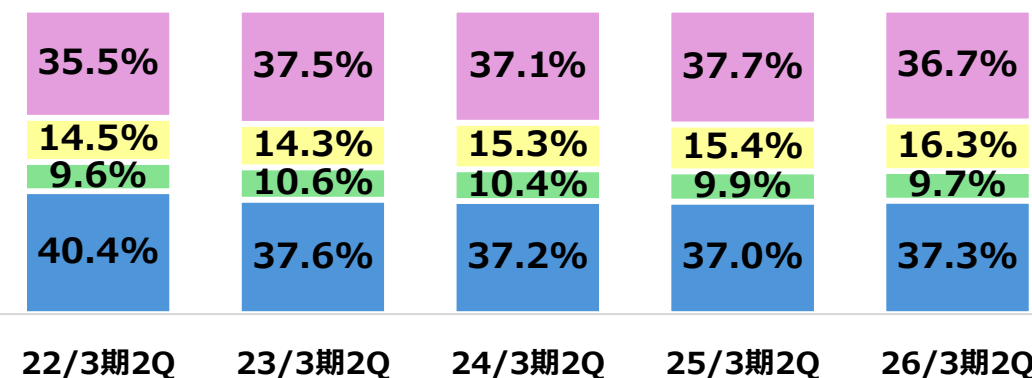


その他事業

ベンダー収支改善により増収増益



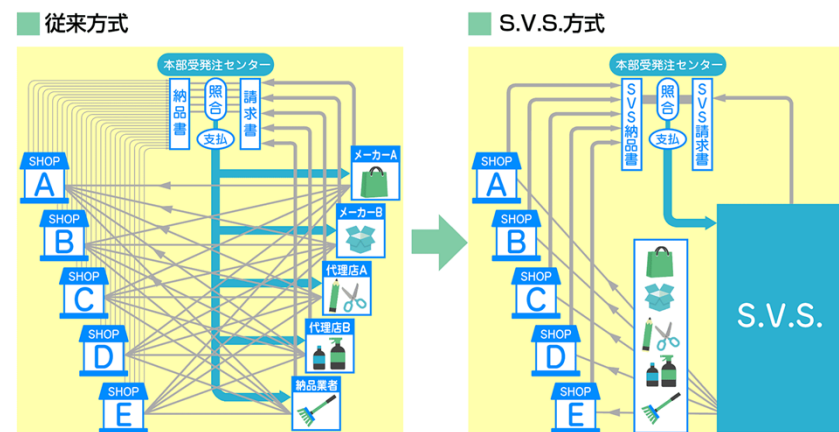
売上高構成比 ■事務・清掃用品 ■包装・梱包用品 ■販促ギフト ■その他



概況

- ・ベンダー商品販売先の店舗数の増加により売上高増収
- ・ベンダー商品の価格見直し実施によりセグメント利益の増益が継続

スーパーバッグベンダーシステム



- ・スーパーバッグ・ベンダー・システム（S・V・S）はその他事業における主たる事業
- ・当社製品をはじめ、店舗・バックヤードで使用する様々な用度品及び消耗品を一括で受注納品する物流システム
- ・マンパワー、スペース、経費等の有効活用が実現できるほか、納品時のトラック便を減らすことでCO2排出量削減・省エネルギーに貢献

連結貸借対照表

資本コスト施策の実行により自己資本比率上昇

単位：百万円

	2025年3月期		2026年3月期		主要な増減要因
	構成比	期末実績	構成比	2Q実績 増減	
資産		14,600		14,972	371
流動資産	69.7 %	10,173	70.2 %	10,506	332
固定資産	30.3 %	4,427	29.8 %	4,466	39
負債		9,870		10,076	205
流動負債	74.5 %	7,356	74.0 %	7,457	100
固定負債	25.5 %	2,513	26.0 %	2,618	105
純資産		4,730		4,896	166
自己資本		4,718		4,884	165
非支配株主持分		11		12	0
自己資本比率		32.3%		32.6%	0.3%pt

政策保有株式の縮減、下請事業者への支払サイト短縮、借入金削減

連結キャッシュ・フロー

投資有価証券の売却収入でフリーキャッシュ・フロー増加

単位：百万円

	2025年3月期 2Q実績	2026年3月期 2Q実績	増減	主要な増減要因
営業活動によるCF	277	385	107	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期末が休日であったため売上債権の回収が月ズレしたことによるキャッシュイン減少 ・ 前期2Qに下請事業者の支払サイトを短縮したことによるキャッシュアウト減少 ・ 法人税等の支払増加によるキャッシュアウト増加
投資活動によるCF	△210	31	241	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資有価証券の売却収入によるキャッシュイン増加
フリーキャッシュ・フロー	67	416	349	
財務活動によるCF	△79	△113	△34	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借入金の削減によるキャッシュアウト増加 ・ 増配に伴う配当金支払増加によるキャッシュアウト増加
現金及び現金同等物の換算差額	45	8	△36	
現金及び現金同等物の増減額	33	312	278	
現金及び現金同等物の期末残高	2,566	3,092	525	

1. 決算サマリー

2. 2026年3月期 第2四半期決算の概要

3. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 連結業績予想

営業力強化によるエリア展開・新規開拓で通期では営業利益・経常利益の増益見込む

単位：百万円

	2025年3月期		2026年3月期 (2025年5月14日公表値)	
	利益率	実績	利益率 予想	増減
売上高		27,579	29,300	1,720
営業利益	営業利益率 3.3 %	901	営業利益率 3.8 % 1,110	営業利益率 + 0.5 %pt 208
経常利益	経常利益率 3.7 %	1,022	経常利益率 4.0 % 1,180	経常利益率 + 0.3 %pt 157
親会社株主に帰属する 当期純利益	当期利益率 3.5 %	976	当期利益率 3.1 % 900	当期利益率 △ 0.5 %pt △ 76

ご注意事項

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。